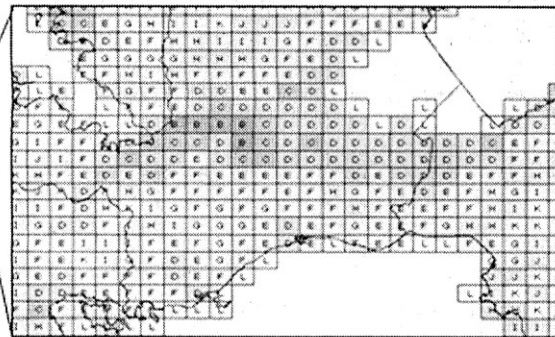
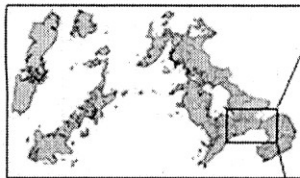


# 農業技術 リズム

## 水稻主要品種の栽培適地マップ

### 品質低下リスク低い 田植え時期を視覚化

高品質米の安定生産のためには、気象条件に適した品種を適期に作付けすることが基本ですが、近年気候の変化により、品



【使用データ】  
国土交通省国土政策局「国土数値情報（気候値メッシュおよび行政区画データ）」  
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業環境変動研究センター「メッシュデータ（日平均気温）」

「にこまる」の栽培適地マップ

種選択や田植え時期の判断が難しくなっています。  
温暖化の影響で、「ヒノヒカリ」では高温障害が多発し、高温耐性品種への転換が進んでいます。しかし、高温耐性品種の

一つ「にこまる」では、年によって秋の低温により充実不足となる場合があり、田植え時期の適正化（遅植えの是正）が課題として再認識されました。

長崎県では、この状況を踏まえ水稻栽培適地マップの作成に着手し、2016年度に「にこまる」と「ヒノヒカリ」のマップを作成しました。

マップは、1キロメッシュ（網目、格子）ごとの気象データと各品種の生育予測式から求めた、品質低下リスクが低い田植え時期を視覚化したものです。

17年度からは、他の高温耐性品種についてもマップを順次作成予定です。

田植え時期の是正や高温耐性品種への転換など、高品質米の安定生産に向けた地域ぐるみの取り組みに、本マップをぜひご活用ください。

（県農林技術開発センター  
研究企画部門研究企画室  
土井謙児）